

# 茅ヶ崎海岸中海岸地区の養浜事業概要

茅ヶ崎海岸中海岸地区は、50年間で汀線が約50m後退した侵食が著しい海岸です。近年では、平成19年台風9号の高波によって、背後の国道134号自転車歩行者道が被災するなどの被害が発生しました。この対策として、相模貯水池や茅ヶ崎漁港西側の堆積土砂を運搬し、海辺で敷き均す「養浜」によって砂浜を広げ、防護、環境、利用の調和の取れた侵食対策を実施しています。

## 養浜事業の概要

**目標砂浜幅** 最も後退している箇所の砂浜幅を50mまで回復

**粒径** 砂分と礫分を含む混合粒径

**養浜量** 年間3万m<sup>3</sup>を10年間で合計30万m<sup>3</sup>

## 中海岸平面図



## 過去の災害



昭和57年 台風18号



平成9年 台風7号



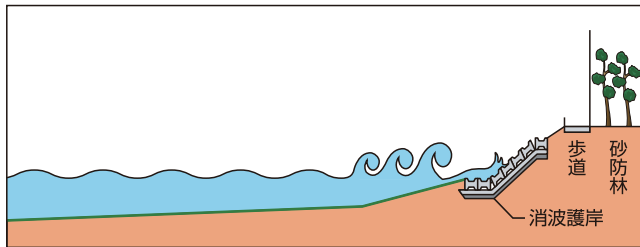
平成17年 台風14号



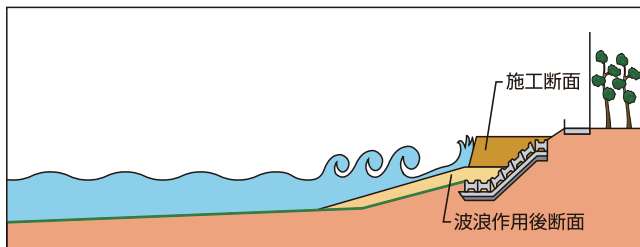
平成19年 台風9号

## 計画断面図

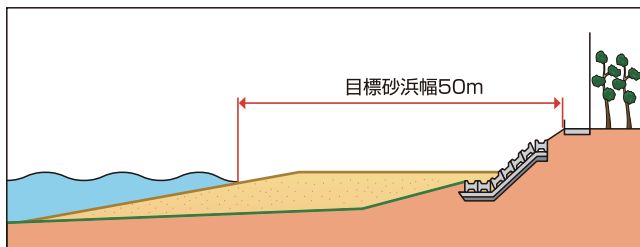
### ■現況断面図



### ■養浜施工断面図



### ■将来目標断面図



## 養浜土砂の流れ



相模貯水池浚渫



土砂仮置き



土砂運搬



養浜施工中

## 養浜の効果



平成17年12月 養浜前



平成31年 養浜後